

令和 6 年度

事 業 報 告 書

社会福祉法人佐渡市社会福祉協議会

目次

はじめに	— 1 —
I 一般事業報告書	— 2 —
1. つながり、支え合うまちづくり	— 2 —
2. 健やかな暮らしを支えるまちづくり	— 10 —
3. 安全安心で住みやすいまちづくり	— 19 —
4. 介護サービス事業の経営強化と発展	— 26 —
5. 福祉センター等の有効活用	— 27 —
6. 法人運営機能の充実・強化	— 28 —
7. その他の取り組み	— 31 —
II 介護保険事業、障がい福祉サービス事業報告書	— 32 —

令和6年度社会福祉法人佐渡市社会福祉協議会事業報告

はじめに

令和6年度から5年間を計画年度とする「第4次佐渡市地域福祉計画・地域福祉活動計画」では、地域共生社会の実現や持続可能なまちづくりを目指して、3つの基本方針に基づき取り組みを進めました。

地域福祉・生活支援事業では、常設の居場所や地域食堂など地域住民や分野を超えたさまざまな連携・協働による助け合い支え合いを推進しました。さらに、社会的孤立や高まる成年後見ニーズへの対応、或いは高齢者等の移動や買い物の地域生活課題についても、行政、関係機関、民生委員児童委員、及び企業等と協働して、解決に向けての取り組みを進めました。

また、災害関連においては、新たに佐渡ライオンズクラブとの協定締結や運営マニュアルの見直しを行い、体制強化に努めました。

介護保険事業については、高齢者人口及び介護保険認定者の減少に伴い、利用者が減少傾向にあります。安定的な事業運営に向け、利用者状況に応じて、地域密着型通所介護への変更、事業休止など事業の見直しを行いました。

第3次社協発展・強化計画及び第4次佐渡市地域福祉計画・地域福祉活動計画に基づき、以下のとおり事業を実施しましたので報告します。

I 一般事業報告書

1. つながり、支え合うまちづくり

(1) 支え合い意識の高揚と活動への支援

① 福祉教育の充実

ボランティアセンター、各支所・地域センター連携のもと、福祉やボランティアのこころを育むことを目的に依頼のあった学校や企業等に出向き、ふくボラ出前塾講座を実施した。連続講座の実施により、講義から実践につながる事業展開を行った。

ア. 福祉教育事業（ふくボラ出前塾）の実施（補助事業・会費事業 124,045 円）

	地 区	実施先	分類	開催日	参加者数	内 容
1	両 津	河崎小学校	学校	12月19日	10名	・車イス体験、高齢者疑似体験、アイマスク体験
2				1月24日	10名	・視覚障がい、身体障がい者補助犬について
3		前浜小中学校	学校	5月14日	18名	・視覚障がい、身体障がい者補助犬について
4		住吉サロン	サロン	4月22日	21名	・災害ボランティア
5		原黒集落	集落	9月27日	30名	・災害ボランティア
6		春日スマイルサロン	サロン	3月21日	11名	・スマホ講座
7	相 川	七浦小学校	学校	9月24日	10名	・車イス体験、高齢者疑似体験
8				10月8日	10名	・認知症サポーター養成講座
9				10月23日	10名	・介護体験、介護保険、地域福祉
10				11月6日	10名	・災害ボランティア
11				11月22日	10名	・視覚障がい、アイマスク体験
12				12月5日	10名	・施設訪問
13		相川民協	その他	6月19日	32名	・視覚障がい、身体障がい者補助犬について
14	佐和田	河原田小学校	学校	10月1日	30名	・車イス体験、高齢者疑似体験
15				11月26日	31名	・手話講習
16		二宮小学校	学校	2月12日	29名	・車イス体験、高齢者疑似体験
17		新潟県労働金庫	企業	8月21日	9名	・地域福祉、ボランティアについて
18	金井	金井小学校	学校	11月27日	56名	・傾聴ボランティア
19				11月28日	56名	・高齢者疑似体験
20				12月12日	56名	・介護体験
21		佐渡保育専門学校	学校	5月1日	6名	・聴覚障がいについて、手話講習
22				9月18日	6名	・補助犬を知ろう
23	新穂	新穂中学校	学校	5月23日	6名	・防災学習
24		正明寺サロン	サロン	6月13日	7名	・認知症サポーター養成講座
25		舟下サロン	サロン	7月11日	7名	・認知症サポーター養成講座
26	畠野	畠野小学校	学校	2月25日	19名	・聴覚障がい、手話について
27				11月13日	26名	・地域福祉について
28		畠野中学校	学校	11月20日	26名	・車イス体験、高齢者疑似体験
29				12月10日	26名	・介護体験、施設見学（新穂デイ）
30				9月3日	12名	・地域福祉について（移動販売）
31		佐渡総合高校	学校	9月5日	12名	・地域福祉について

	地 区	実施先	分類	開催日	参加者数	内 容
3 2				1 0月 3 1 日	1 2名	・認知症サポーター養成講座
3 3				1 1月 7 日	8名	・視覚障がい、身体障がい者補助犬について
3 4				1 月 7 日	8名	・施設訪問（畠野デイ）
3 5				1月 1 0 日	1 2名	・施設訪問（新穂デイ）
3 6		三宮サロン	サロン	3月 1 4 日	1 8名	・認知症サポーター養成講座
3 7		畠野介護予防教室（いこいの間）	その他	7月 1 日	7名	・災害ボランティア
3 8		畠野介護予防教室（小倉）		7月 1 0 日	7名	
3 9		畠野介護予防教室（大久保・宮川）		7月 1 7 日	1 8名	
4 0	真野	真野小学校	学校	6月 4 日	1 4名	・アイマスク体験
4 1				6月 1 8 日	1 3名	・災害ボランティア
4 2				9月 1 0 日	1 4名	・車イス体験
4 3				1 0月 8 日	1 4名	・認知症サポーター養成講座
4 4				1 0月 2 2 日	1 3名	・視覚障がい、身体障がい者補助犬について
4 5				1 1月 1 2 日	1 1名	・GH までの訪問準備
4 6				1 2月 3 日	1 4名	・GH までの訪問
4 7		真野中学校	学校	1 0月 1 0 日	1 0 5名	・防災学習
4 8	小木	小木小学校	学校	1 2月 4 日	1 1名	・車イス体験、高齢者疑似体験
4 9				1 2月 1 1 日	1 1名	・介護体験
5 0		小木老人クラブ連合会	その他	1月 1 6 日	4 9名	・防災講座
5 1		深浦集落	集落	1 1月 2 4 日	1 5名	・認知症サポーター養成講座
5 2	羽茂	羽茂小学校	学校	7月 4 日	2 8名	・高齢者疑似体験
5 3		羽茂高校	学校	5月 2 日	1 4名	・高齢者疑似体験
5 4				5月 7 日	3名	・地域福祉について
5 5				5月 3 0 日	1 4名	・介護体験
5 6				6月 2 0 日	1 8名	・介護体験
5 7				7月 1 1 日	1 8名	・車イス体験
5 8				9月 1 2 日	1 8名	・認知症サポーター養成講座
5 9				1 0月 2 4 日	1 8名	・聴覚障がい、身体障がい者補助犬について
6 0				1 1月 2 1 日	1 8名	・手話講習
6 1				1 2月 1 9 日	1 8名	・視覚障がい、身体障がい者補助犬について
6 2		大崎あつまらんか	サロン	5月 1 6 日	9名	・認知症サポーター養成講座
6 3		羽茂地区防災講座	その他	6月 2 1 日	4 1名	・災害ボランティア
6 4		南部 3 地区健康推進協議会研修会	その他	7月 1 2 日	2 9名	・災害ボランティア
6 5		サロン木戸	サロン	1月 2 6 日	1 2名	・スマホ講座
6 6	赤 泊	赤泊小学校		6月 1 6 日	3 5名	・車イス体験、杖利用者介助体験、非常持ち出し袋体験
6 7		下川茂集落	集落	4月 2 0 日	2 2名	・見守り
6 8		赤泊東西福祉会	その他	7月 9 日	7名	・認知症サポーター養成講座

②支え合い意識の高揚と参加の促進

ア. 生活支援体制整備事業の実施（受託事業 24,387,000 円）

令和6年度から第1層生活支援コーディネーターを新たに受託し、地域の助け合い支え合いを広めるため、地域のニーズや資源の把握・開発に取り組むとともに、担い手の掘り起こしや支援者同士のネットワークの構築を進めた。

また、「常設の居場所ほっとてらす」を開所し、子どもから高齢者等が交流し、互いに助け合い支え合う取り組みの推進を図った。

移動販売車と地域のマッチングを行い、買い物支援体制の構築を図るとともに、移動販売を通じたコミュニティづくりを行った。

(ア). 生活支援コーディネーター活動実績

活動内容	第1層	第2層		合計
	市内全域	西圏域 (相川・佐和田)	南圏域 (小木・羽茂・赤泊)	
実態把握	19件	3件	42件	64件
資源開発	74件	73件	79件	226件
支援ネットワークの構築	67件	44件	54件	165件
マッチング	3件	13件	2件	18件
合計	163件	133件	177件	473件

(イ). 協議体の開催

開催日	内容	場所	参加人数
8月7日	相川しゃべり場 ・現在の相川地区の情報把握 ・様々な地域の取組の共有 ・情報やアイデア出し	佐渡市役所相川支所	21名
10月25日	第1回企業体会議 ・第1層協議体の再編について ・地域貢献活動の取り組みについて ・就労的活動支援コーディネーターの紹介 ・意見交換	佐渡市役所本庁	34名
2月26日	佐渡市支え合いの仕組みづくり連絡会（第1層協議体） ・主旨説明 ・意見交換 テーマ①「参加者の固定化、男性の参加者が少ない」 テーマ②「歩いて行けない、家から遠い方の移動手段」 ・発表・質疑応答	佐渡市役所本庁	17名
2月27日	第1回南佐渡支え合い連絡会（羽茂地区） ・連絡会の目的紹介 ・自分が暮らす地域のことをしゃべってみよう ・こんなことができるかも	佐渡市役所羽茂支所	19名
3月4日	第1回南佐渡支え合い連絡会（赤泊地区） ・連絡会の目的紹介 ・自分が暮らす地域のことをしゃべってみよう	福祉保健センター やすらぎ	17名
3月13日	佐和田しゃべり場 ・現在の佐和田地区の情報把握	佐和田行政サービス センター	16名

	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な地域の取組の共有 ・情報やアイデア出し 		
--	--	--	--

(ウ). 支え合い助け合い活動勉強会の開催

開催日	内 容	場 所	参加者数
9月8日	<p>わたしたちの居場所を創らんかさ in さど ～令和6年度佐渡市居場所づくり勉強会～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講演「わたしたちの居場所を創らんかさ in さど」 講師 実家の茶の間紫竹 代表 河田珪子氏 ・意見交換 	小木多目的集会施設 あゆす会館	50名
11月24日	<p>わたしたちの居場所を創らんかさ in さど ～令和6年度佐渡市居場所づくり勉強会～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主旨説明 ・講演 演題「わたしたちの居場所を創らんかさ in さど」 講師 地域の茶の間創設者 河田珪子氏 ・意見交換 	アミューズメント 佐渡	40名
3月11日	<p>広げんかさ！わたしたちの支え合い in さど ～令和6年度佐渡市支え合いの仕組みづくり勉強会～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域活動団体によるパネル展示 ・講演 演題「広げんかさ！わたしたちの支え合い in さど」 ・意見交換 	アミューズメント 佐渡	23名

(エ). 常設の居場所ほっとてらす

- ・令和7年1月14日～16日 プレオープン
- ・令和7年1月20日 開所式

開設日	利用者数	特記事項
1月14日～16日	42名	プレオープン
1月20日 ～3月31日	962名	<ul style="list-style-type: none"> ・小中高校生の利用（勉強、遊び、バス待ち等） ・ボランティア団体等の利用（会議、zoom研修、茶話会） ・子育てママの会合 ・多世代交流の推進 ・地域食堂の開催（社協事業） ・将棋教室の開催 ・授産品販売 ・関係機関との連携、各相談機関へのつなぎ

イ. 佐渡市社会福祉大会の実施

式典では社会福祉功労者表彰を行い、永年にわたり社会福祉の進展にご尽力いただいている方々を表彰した。

また、記念講演として、ITエヴァンジェリストの若宮正子さんを講師にお招きし、ITを活用することで世界が広がったことやIT先進国の取り組み、そして、毎日学び毎日成長していくこと等、変化の激しい時代を生きていくためのヒントをお話いただいた。

そして、ピラティスインストラクター・カイロプラクターの洲崎純子さんから、姿勢の大切さをお話いただきましたとともに、来場者と一緒にテニスボールを使ったエクササイズを行った。

(ア). 佐渡市社会福祉大会の開催

開催日	内 容	場 所	参加者数
10月8日	第19回佐渡市社会福祉大会 ・式典 ・記念講演 演題 「単なる長寿」から「健康寿命」へ、そして「活動寿命」へ。 講師 ITエヴァンジェリスト 若宮正子氏 ・エクササイズ 演題 スッキリ美姿勢で、健康寿命をのばそう！ 講師 ピラティスインストラクター・カイロプラクター 洲崎純子氏 ・障がい者施設の授産品販売	アミューズメント佐渡	400名

(イ). 社会福祉関係者の顕彰

開催日	内 容	場 所	被表彰者数
10月8日	第19回佐渡市社会福祉大会の席上にて、社会福祉功労者を表彰	アミューズメント佐渡	個人18名 団体4団体

ウ. 共同募金事業の協力

佐渡市内の地域福祉事業に活用される共同募金については、目標額13,854,000円に対して91.5%の達成率、前年度より523,613円の減額となった。

【戸別】	【法人】	【学校】	【職域】	【その他】	【合計】
13,090件 8,687,940円	864件 3,007,788円	64件 254,787円	162件 340,445円	148件 381,209円	14,328件 12,672,169円

エ. 福祉団体への活動支援

佐渡市福祉団体活動支援事業業務（受託事業 7,504,000円）

	老人クラブ連合会 (8団体)	身体障がい者福祉協議会 (1団体・5支部)	佐渡市手をつなぐ育成会 (6団体)
事業企画・実施に関する事項	35件	48件	69件
総会定例会等の会議開催に関する事項	44件	3件	33件
書類等の作成指導等に関する事項	354件	52件	8件
事務に関する事項	1,934件	859件	1,268件
合 計	2,367件	962件	1,378件

オ. 戦没者慰靈祭の実施（補助事業 376,397円）

開催地区	参列者
3地区	112名

(2) 地域で活躍する人材育成・ボランティア活動支援

① 人材・リーダーの発掘と育成（補助事業・会費事業 156,140 円）

ア. ボランティア研修会等の実施

ボランティア交流会を開催し、いきいきサロン・地域の茶の間ボランティアのモチベーションの向上や活動の実践事例について学び、今後の意欲的な活動に繋がる機会となることができた。また、ボランティア活動を積極的に推進するために、セカンドライフ講座や運転ボランティア養成講座を実施した。

(ア). ボランティア交流会

開催日	参加者数	場 所	内 容
9月6日	58名	アミューズメント 佐渡（小ホール）	講義「いきいきサロンの意義と期待される機能」 ～地域を元気に いきいきサロン・地域の茶の間～ 講師 新潟医療福祉大学 社会福祉学部 社会福祉学科 教授 青木 茂 氏 事例発表 ・郷平町楽天の会 宮城 敏子氏、安田 篤子氏 ・佐渡市における移動販売を通じた居場所づくり 生活支援コーディネーター 高野 康栄 体験「余興・レクリエーション」

(イ). フォローアップ研修会

開催日	参加者数	場 所	内 容
5月31日	12名	真野老人福祉センター 寿楽荘	運転ボランティア養成講座 説明「移送サービス事業について 実技1 「車イスの操作方法」 実技2 「福祉車両の操作方法」

(ウ). セカンドライフ講座

開催日	参加者数	場 所	内 容
2月7日、 2月14日、 2月28日	37名	小木地区公民館	「はじめての LINE 講座」 入門編、基本編、応用編 講師 岩井パソコン教室

② ボランティア活動の支援と連携強化（補助事業・会費事業 1,237,578 円）

ア. ボランティア活動の推進

(ア). ボランティア登録状況

ボランティア登録の促進やニーズの把握・発掘に努めた。（令和7年3月31日現在）

個 人	団 体
499名	152団体

(イ). ボランティア保険加入受付・報告

ボランティア活動保険加入者（令和6年度補償の対象者）1, 714名

(ウ). 収集ボランティアの協力

市民からお寄せいただいた物品を島外の支援団体に送付した。

物 品	受付量	物 品	受付量
エコキャップ	2, 768 kg	書き損じハガキ	217枚
外国のお金	113枚	中古メガネ	76本
使用済み切手	9, 707 g		

(エ). 24時間テレビチャリティー募金活動の実施

安寿天神祭り会場内にて街頭募金活動を行った。また、佐渡市社会福祉協議会各窓口において募金活動を行った。

地 区	実施日	実績額	場 所
街頭募金	8月24日	63, 260円	安寿天神祭り会場（畠野地区）
窓 口	8月19日 ～9月13日	48, 056円	佐渡市社会福祉協議会本所・支所・地域センター10か所
合 計		111, 316円	

イ. ボランティアの相談、連絡調整

(ア). ボランティアセンター運営委員会の開催

開催日		出席者	決議事項
1	5月22日	8名	1 令和5年度佐渡市ボランティアセンター事業報告について 2 令和6年度佐渡市ボランティアセンター事業計画について
2	12月17日	9名	1 令和6年度佐渡市ボランティアセンター事業中間報告について 2 令和7年度佐渡市ボランティアセンター事業計画（案）について

(イ). ボランティア担当者会議等の開催

各種事業の打合せや次年度事業計画、各地区情報交換等を目的に7回開催した。

ウ. ボランティアセンター公式LINE

ボランティア募集情報をはじめ、活動状況や地域の情報を配信し、参加の促進を図った。

また、お友達登録の啓発に努めた。

配信回数 47回 ・ お友達登録者数 359名（123名増）

エ. ボランティア人材バンク一覧の発行

市民に広く情報提供するため、社協だより、ホームページ及び佐渡テレビ等を通じてボランティア情報を発信した。また、ボランティア人材バンク（きらっとボランちや情報ブック）の更新を行った。

(3) 子育てにやさしい地域づくり

① 子育てサービスの充実

ア. 世代間交流事業の実施・支援協力

(ア). 世代間交流の推進

世代間交流を図るために、サロン等へ出向き交流を行った。

地 区	回 数	内 容
7地区	32回	デイサービスセンターへの園児訪問、居場所づくり事業等への小学生参加 等

(イ). メッセージカード送付事業

市内全小中学校の児童、生徒よりメッセージカードを作成いただき、歳末たすけあい事業の配付物に同梱した。

イ. 夏休みボランティア体験プログラムの実施（会費事業 10,127 円）

地域の施設や地域福祉事業のボランティア体験を通して、身近に感じてもらうため実施した。デイサービスやグループホーム、介護予防教室、地域の茶の間・サロンでのお手伝いや交流、配食サービスやおはようコールなどの地域福祉事業の体験、児童クラブや子どもの居場所で遊びのサポート・見守りなどの活動を体験した。

対象：夏休み期間の佐渡市内在住の小学3年生～6年生、中学生、高校生

延べ参加者数	参加校
72名	14校

2. 健やかな暮らしを支えるまちづくり

(1) 地域での見守り・声かけ体制づくり

① 見守り・声かけ活動の推進

ア. 地域福祉懇談会の実施（受託事業：地域力強化推進事業に含む）

各支所において、小地域単位で開催し、地域の実情や課題等意見をいただくことができた。

また、一部開催が困難な集落では、アンケート調査を実施するなど工夫して取り組みを進めた。

開催回数	参加者数	対象集落
17回	220名	21集落

イ. 支え合いマップづくり事業の実施（受託事業：地域力強化推進事業に含む）

集落へ働きかけを行い、市民とともに支え合いマップづくりに取り組んだ。地図を見ながら地域の情報を共有し、災害時の見守り体制の構築を行った。また、災害時の体制から平時の支え合いにつながるよう話し合いを行った。

実施回数	参加者数	対象集落
15回	142名	15集落

ウ. 見守り活動の推進（受託事業：地域力強化推進事業に含む）

一人暮らし高齢者世帯等への近隣住民の定期的な訪問や、支援のネットワークによる声かけ、訪問、気配りなどを行い安否の確認や見守りを行った。民生委員児童委員、福祉協力員、集落等関係機関と連携強化を図りながら取り組んだ。継続してシリコンバンドを配付し、見守り活動の啓発を図った。

講座等の開催	開催回数	参加者	備考
見守り情報共有会議	17回	162名	見守り方法の確認 見守り対象者、の見直し
見守り講座・説明会	3回	67名	見守り活動の事業説明 見守り方法の紹介

エ. おはようコール（お元気コール）の実施（補助事業・会費事業 643,597円）

一人暮らし高齢者・障がい者等世帯に対し、定期的な電話による安否の確認を行い、健康状態の把握や孤独感の解消に努めた。また、ボランティア同士の情報交換の場やモチベーション維持のために各地区で情報交換会を開催した。

利用者数	ボランティア数
98名	49名

オ. 配食サービスの実施（補助事業・会費事業 10,519,622円）

一人暮らし高齢者及び高齢者のみ世帯等で、公的サービスのみでは食生活に不安のある方に、配達ボランティアの協力を得て、配食サービスを提供するとともに見守り・安否確認を行った。

実利用者数	延配食数	うち 弁当延数	うち おかず延数	ボランティア数 (実働)
236名	14,109食	6,120食	7,989食	79名

カ. 佐渡市配食サービス（受託事業 24,031,909 円）

佐渡市から配食サービス事業を受託し、社協配食サービスと併せて、祝日を除く平日（月曜日～金曜日）一貫しての食の確保、見守り、安否確認を行った。

実利用者数	延配食数	うち 弁当延数	うち おかず延数
331名	16,900食	8,957食	7,943食

キ. 福祉つながりセット配付事業の実施（共同募金配分金事業 2,906,085 円）

民生委員の協力を得て、80歳以上一人暮らし高齢者及び80歳以上の世帯高齢者等へ生活用品の配付を年2回実施し、実態把握や見守りを行った。

延利用者数
5,952名

ク. 民生委員児童委員等との連携強化（会費事業 1,978 円）

各民生委員児童委員定例会に出席し、地域課題の共有や佐渡市社会福祉協議会事業についての意見交換等を行い連携・強化に努めた。

また、定例会の出席のほか、両津地区等においては福祉懇談会等を開催し、個別課題や支援策等の共有を図った。

開催回数	開催地区
35回	両津、相川、新穂、畠野、真野

ケ. 第4次佐渡市地域福祉計画・地域福祉活動計画の検証

地域生活課題の解決を目指し、地域住民をはじめ地域の関係機関との連携に努めるとともに、地域福祉委員会での協議、及び佐渡市地域福祉計画・地域福祉活動計画推進懇談会による評価を行った。

開催日	会議名	決議事項
3月25日	推進懇談会	・第3次計画（令和5年度）の事業評価 ・第4次計画の進行管理・評価について

② 誰もが集える居場所づくりの推進

ア. 地域の居場所づくり事業の推進（補助事業・会費事業 1,384,479 円）

(ア). 地域の茶の間・いきいきサロン等の実施、支援

日中孤立しがちな高齢者等の、閉じこもり予防や仲間との交流による孤独感の解消が図れるよう、地域の茶の間、ふれあいいきいきサロン等の開催を支援した。地域食堂の開催ニーズが高く、各地で開催を支援した。

区分	実施回数	開催箇所	延参加者数	備考
地域の茶の間・いきいきサロン	1,120回	98箇所	11,004名	新規開設5箇所
地域食堂	38回	11箇所	1,552名	新規開設6箇所
お試しサロン	6回	6箇所	88名	
お買い物サロン	51回	1箇所	101名	
入浴支援	8回	1箇所	16名	
合計	1,223回	117箇所	12,761名	

(イ). スタッフや参加者同士の交流会・スタッフ研修会等の実施

実施回数	参加者数	主な内容
14回	147名	子ども食堂交流会（畠小）、地域の茶の間ボランティア情報交換会、いきいきサロンボランティア研修会、立上げ支援、新穂・畠野・真野地区サロン交流会、南部3地区サロン・茶の間スタッフ交流会

(2) 相談支援、情報提供体制の充実

① 重層的・包括的相談支援体制の充実

ア. 地域力強化推進事業の実施（受託事業 41,572,000 円）

制度の狭間や複数の福祉課題を抱えるなど、既存の福祉サービスだけでは対応困難な事案の発見や解決に取り組むため、コミュニティソーシャルワーカー（福祉なんでも相談員）を配置し、アウトリーチ（訪問活動）や関係機関、包括化推進員との連携により、課題解決の支援を行った。

また、地区担当支援員を配置し、地域福祉懇談会や支え合いマップづくり等集落等と連携して支援活動に取り組んだ。

(ア). 相談実績

	両 津	相 川	佐和田	畠 野	羽 茂	合 計
相談受付総件数	218件	458件	740件	363件	276件	2,024件
うち問合せ件数	51件	13件	12件	14件	0件	101件
うち新規件数	37件	50件	85件	43件	76件	253件
うち継続相談件数	130件	395件	643件	306件	200件	1,670件

(イ). 相談内容

	両 津	相 川	佐和田	畠 野	羽 茂	合 計
福祉制度・サービスに関する相談	64件	164件	300件	90件	12件	630件
日々の生活に関する相談	135件	211件	292件	215件	30件	883件
病気・健康に関する相談	49件	67件	240件	125件	18件	499件
障がいに関する相談	7件	0件	16件	11件	0件	34件
介護に関する相談	27件	10件	8件	6件	2件	53件
仕事に関する相談	25件	0件	15件	18件	1件	59件
財産管理・債務に関する相談	21件	0件	13件	17件	1件	52件
権利擁護に関する相談	0件	0件	0件	2件	0件	2件
消費者被害に関する相談	0件	0件	0件	1件	0件	1件
家族関係・人間関係に関する相談	8件	0件	13件	46件	2件	69件
地域との関係・社会参加に関する相談	16件	0件	39件	22件	2件	79件
ひきこもり・不登校に関する相談	0件	0件	0件	0件	0件	0件
DV・虐待に関する相談	0件	0件	0件	4件	0件	4件
地域福祉・ボランティアに関する相談	2件	3件	9件	11件	1件	26件
住宅に関する相談	4件	0件	11件	15件	0件	30件
子育て・子どもの教育に関する相談	2件	1件	0件	2件	0件	5件
その他	26件	4件	40件	0件	16件	86件
合 計	386件	460件	996件	585件	85件	2,512件

(ウ). 活動実績

	両 津	相 川	佐和田	畠 野	羽 茂	合 計
サロン・個人宅等への訪問	53件	22件	92件	84件	151件	402件
福祉サービス、関係機関等へのつなぎ	40件	5件	23件	10件	36件	114件
研修会等への出席、地域づくりに関する活動等	53件	7件	23件	94件	71件	248件
地域支援活動数	32件	16件	36件	54件	42件	180件
合 計	178件	50件	174件	242件	300件	944件

(エ). 包括化推進員の配置

福祉課に包括化推進員を配置し、コミュニティソーシャルワーカー（福祉なんでも相談員）をはじめ各部署との連携強化や生活課題を抱える世帯への事例検討を行った。

また、生活支援コーディネーターとの連携を図り、地域支援に取組んだ。

a. 相談件数 171件 うち多機関連携件数 25件

b. 包括化推進会議の開催

生活困窮者自立支援調整会議にて個別事例の検討 6回

c. ネットワーク構築にむけた取り組み

支え合い仕組みづくり連絡会への出席 10回

生活支援コーディネーターとの連携 11回

イ. 地域包括支援センター・ブランチの設置

(ア). 地域包括支援センター

地域ケア会議にて、個別ケースの対応方法の検討や抽出された地域課題の解決に向け関係機関と協議を行った。

また、認知症の理解と普及啓発に関して、相談対応に認知症ケアパス等を活用し周知に努めた。

a. 佐渡東地域包括支援センター

(a). 介護予防把握・介護予防ケアマネジメント作成件数

	新規件数	継続件数
介護予防把握	0件	
介護予防ケアマネジメント1（総合事業）	46件	735件
介護予防ケアマネジメント2（予防給付）	18件	997件

(b). 相談件数（延数） (c). 相談内容（実数）

(d). 会議・研修等への出席

相談方法	件数	相談内容		新規件数	継続件数	会議名	件数
電話	935件	総合相談	65歳以上	360件	706件	担当圏域包括ケア会議	2件
文書	14件		その他	13件	4件	地域ケア個別会議	7件
来所	249件	権利擁護	成年後見	10件	43件	ケース会議	36件
訪問	63件		高齢者虐待	5件	1件	その他	145件
健診	8件		困難事例	1件	3件	合計	190件
合計	1,269件		消費者被害	0件	0件		
		包括的・継続的ケアマネジメント		20件	67件		

b. 佐渡西地域包括支援センター

(a). 介護予防把握・介護予防ケアマネジメント作成件数

	新規件数	継続件数
介護予防把握	0 件	
介護予防ケアマネジメント 1 (総合事業) (A・C型含)	89 件	1, 260 件
介護予防ケアマネジメント 2 (予防給付)	33 件	1, 651 件

(b). 相談件数(延数) (c). 相談内容(実数)

(d). 会議・研修等への出席

相談方法	件数	相談内容	新規件数	継続件数	相談方法	件数
電話	1, 144 件	総合相談 権利擁護	65歳以上	578 件	750 件	担当圏域包括ケア会議
文書	93 件		その他	16 件	16 件	地域ケア個別会議
来所	359 件		成年後見	11 件	34 件	ケース会議
訪問	175 件		高齢者虐待	13 件	17 件	その他
健診	68 件		困難事例	5 件	36 件	合計
合 計	1, 839 件		消費者被害	1 件	2 件	
		包括的・継続的ケアマネジメント	29 件	36 件		

c. 佐渡南地域包括支援センター

(a). 介護予防把握・介護予防ケアマネジメント作成件数

	新規件数	継続件数
介護予防把握	0 件	
介護予防ケアマネジメント 1 (総合事業)	42 件	548 件
介護予防ケアマネジメント 2 (予防給付)	15 件	144 件

(b). 相談件数(延数) (c). 相談内容(実数)

(d). 会議・研修等への出席

相談方法	件数	相談内容	新規件数	継続件数	会議名	件数
電話	480 件	総合相談 権利擁護	65歳以上	270 件	331 件	担当圏域包括ケア会議
文書	6 件		その他	6 件	7 件	地域ケア個別会議
来所	182 件		成年後見	12 件	33 件	ケース会議
訪問	57 件		高齢者虐待	10 件	19 件	その他
健診	48 件		困難事例	8 件	52 件	合計
合 計	773 件		消費者被害	0 件	0 件	
		包括的・継続的ケアマネジメント	14 件	36 件		

(イ). ブランチ

(相川ブランチ・真野ブランチ・新穂ブランチ・小木ブランチ・赤泊ブランチ)

a. 高齢者の介護予防把握状況

内 容	相川	真野	新穂	小木	赤泊	合計
サービス基本台帳作成件数	535 件	150 件	150 件	151 件	232 件	1, 218 件
うち地域包括支援センターへの情報提供	45 件	14 件	2 件	6 件	8 件	75 件

b. 総合相談状況

内 容	相川	真野	新穂	小木	赤泊	合計
相談受理件数	38件	36件	6件	5件	33件	118件
うち地域包括支援センターへつないだ数	23件	16件	3件	3件	10件	55件

ウ. 在宅介護支援センターの設置

(両津在宅介護支援センターいわゆり・両津在宅介護支援センターかんぞう)

a. 高齢者の介護予防把握状況

内 容	いわゆり	かんぞう	合計
サービス基本台帳作成件数	300件	300件	600件
うち地域包括支援センターへの情報提供	0件	5件	5件

b. 総合相談状況

内 容	いわゆり	かんぞう	合計
相談受理件数	13件	25件	38件
うち地域包括支援センターへつないだ数	3件	10件	13件

② 生活困窮者自立支援事業の推進

ア. 生活困窮者自立支援事業の推進 (受託事業 26,657,000 円)

経済的に困窮している市民に対し、生活困窮状態からの脱却を図るために相談支援を行った。

新型コロナウィルス感染症が5類になって以降相談件数はコロナ禍以前と同等の数字に落ち着いている。継続して支援調整会議や生活困窮者自立支援事業研修会を開催し、関係機関とのネットワークの構築に努め、連携しながら相談支援を行った。特に就労準備支援事業・被保護者就労準備支援事業での就労準備支援プログラムでは相談者の個性に応じた新規のプログラムを多数立案し、佐渡市社会福祉協議会内外のネットワークを生かして相談者の生活や社会面の自立に向けて支援を拡充した。

(ア). 自立相談支援事業の実施

a. 相談件数、相談方法、プラン作成数、一般就労・増収者数 (各延件数)

相談件数	件数	相談方法	件数		件数
問合わせ件数	0件	電話	1, 617件	自立プラン作成数 (再プラン含む)	78件
新規受付件数	155件	文書・メール	350件		
相談援助件数	3, 207件	来所	202件	一般就労数	6件
その他	53件	訪問・同行	1, 028件	増収者数	6件
合 計	3, 415件	他機関との会議	150件		
		その他	68件		
		合 計	3, 415件		

b. 支援調整会議の開催

開催回数	場 所	延べ参加者数	内 容
12回	畠野行政サービスセンター	81名	自立相談支援事業プラン、家計相談支援事業プラン、就労準備支援事業プログラム、被保護者就労準備支援事業プログラム

c. 個別支援調整会議

開催回数	場 所	延べ参加者数	内 容
8回	畠野行政サービスセンター、相川地域センター、両津公民館、佐渡中央会館、本人自宅、佐渡市役所本庁	40名	個別支援調整会議の開催 8回 対象者 8世帯16名

d. 普及啓発、広報

開催回数	内 容
4回	チラシ配布（全戸）、研修会及び勉強会への講師派遣

e. 生活困窮者自立支援事業研修会の開催

開催日	場 所	参加者数	内 容
11月8日	アミューズメント 佐渡	32	講義 「お金のホントとヒント」 講師 ファイナンシャルプランナー有資格者 遠藤卓人様 講義 「生活自立相談支援センターの概要と家計改善支援について」 講師 生活自立相談支援センター 主任相談支援員 梅川真奈実

(イ). 家計改善支援事業の実施

a. 家計改善支援事業プラン等の実績

	件 数
家計再生プラン作成数（再プラン含む）	34件
生活福祉資金あっせん数	1件

(ウ). 就労準備支援事業・被保護者就労準備支援事業の実施

a. 就労準備支援事業プラン等の実績

	内 容
就労準備支援事業プランの作成数 (再プラン含む)	5 件
就労準備支援プログラムの実施	作成数 16 件 実施回数 98 回 実参加者数 64 名 延参加者数 200 名 実施内容 ボランティア活動（新聞紙ゴミ箱作り・ウエス作り）・キャンプ場整備作業体験・飲食店体験・宿泊施設清掃・配付物品梱包（つながりセット）・しめ縄作り・しめ縄飾りとそばのセット・封筒に封をする作業・福祉施設消毒・介護施設ボランティア・袋作り・パッケージ作り・かやの実殻剥き・カレンダー袋詰め・ペットボトルキャップ分別チラシの挟み込み

b. 被保護者就労準備支援事業プランの実施

	件 数
被保護者就労準備支援事業プランの作成数	1 件

イ. 社協就労体験事業（共同募金配分金事業 133,875 円）

就労体験等を希望する方等が、社会参加のきっかけにするため佐渡市社会福祉協議会内でつながりセット等配付物品の袋詰め、軽作業や施設清掃を実施した。

- ・参加者（実人員） 16名 • サポーター 3名
- ・活動回数（延べ） 93回

ウ. 生活福祉資金の貸付支援（新潟県社協受託事業 1,393,193 円）

低所得者世帯、障がい者世帯、高齢者世帯及び失業により生計の維持が困難となった世帯を対象に、生活の安定と自立を目的として生活福祉資金の相談受付及び貸し付けを行った。

資金種類	相談件数	申請件数	貸付決定件数	申請金額	貸付決定金額
総合支援資金	3 件 (うち新規 0 件)	—	—	—	—
福祉費	100 件 (うち新規 7 件)	1 件	1 件	800,000 円	800,000 円
緊急小口資金	78 件 (うち新規 9 件)	3 件	1 件	40,000 円	40,000 円
教育支援資金	27 件 (うち新規 2 件)	—	—	—	—
緊急小口資金(地震特例)	7 件 (うち新規 1 件)	—	—	—	—
不動産担保型生活支援	8 件 (うち新規 2 件)	—	—	—	—
合計	427 件	4 件	2 件	840,000 円	840,000 円

緊急小口資金等のコロナ特例貸付において、多くの債権が今年度中に償還期限を迎えたため、個別の償還状況に応じて借受人へのフォローアップ支援を行った。

資金種類	フォローアップ対象件数	相談件数
緊急小口資金(コロナ特例)	79 件	167 件
総合支援資金(コロナ特例)	12 件	15 件
合計	91 件	182 件

また、コロナ特例貸付のフォローアップ支援についての業務説明会に参加し、適正な債権管理に必要な知識や援助技術等を学んだ。

回数	内 容
3回	業務説明会

(3) 健康・生きがいづくりの推進

① 健康づくりと介護予防の推進

ア. 介護予防教室の実施（受託事業 13,172,890 円）

引き続き感染症予防のため使用会場に定められた予防対策ガイドライン等を守りながら実施した。参加者同士の交流を通じ、活動的な生活を推進し、閉じこもりを予防することを目的に実施し、実施回数は前年度比で 16 回減少し、延参加者数も 103 名減少した。

教室数	実施回数	延参加者数
34 教室	779 回	8,318 名

② 生きがいづくりと交流の促進

ア. 生きがい活動支援通所事業（新規）

実施回数	延べ参加者数	内 容
37 回	217 名	健康寿命増進と介護予防を目的とした体操・運動・レクリエーション等

3. 安全安心で住みやすいまちづくり

(1) 地域の防災・防犯体制づくり

①防災意識の醸成と災害時の連携強化

ア. 災害救援体制の整備（補助事業 659,043 円）

災害ボランティア活動や災害時に地域で出来ることを考えるために、講座を開催した。また、被災時の相互連携体制を整えることを目的にネットワーク調整会議を行い意見交換、情報共有を行った。

(ア). 災害ボランティア講座の開催

開催日	参加者数	場 所	内 容
7月15日	38名	佐渡市消防本部 防災センター	<ul style="list-style-type: none">・地域支え合いマップ事業について 福祉課課長補佐 中川 敏也・自主防災組織における地区防災計画の作成等について 佐渡市総務部防災課 危機管理主幹 遠藤 隆行氏講義「災害から守る地域づくり」演習～その時、あなたはどうする？～講師：NPO 法人にいがた災害ボランティアネットワーク 理事長 李 仁鉄 氏

(イ). 災害アドバイザー派遣事業検討会（佐渡災害ボランティアネットワーク調整会議）の開催

開催日	参加者数	場 所	内 容
第1回 10月9日	佐渡市、八幡銀杏 の会、佐渡ライオ ンズクラブ、県社 協、社協職員 13名	畠野行政サー ビスセンター	<ul style="list-style-type: none">災害ボランティアセンターマニュアル改訂に向けた検討会議・説明 災害ボランティアセンターの役割について・講義「災害ボランティアセンター運営における協力団体との連携 について」講師 にいがた災害ボランティアネットワーク 理事長 李 仁 鉄氏（オンライン出席）・意見交換「関係機関・協力団体との連携、協力体制について」
第2回 1月20日	佐渡市、佐渡青年 会議所、八幡銀杏 の会、佐渡ライオ ンズクラブ、県社 協、社協職員 12名	畠野行政サー ビスセンター	<ul style="list-style-type: none">・説明 災害ボランティアセンター運営マニュアル第4版（素案） について・意見交換 アドバイザー にいがた災害ボランティアネットワーク 理事長 李 仁鉄氏
第3回 3月26日	佐渡市、佐渡青年 会議所、八幡銀杏 の会、佐渡ライオ ンズクラブ、県社 協、社協職員 14名	畠野行政サー ビスセンター	<ul style="list-style-type: none">・情報提供 佐渡市地域防災計画修正（令和6年10月修正）の概要について 佐渡市総務部防災課 危機管理主幹 遠藤 隆行 氏新潟県災害ボランティア支援センターの設置・運営等に関する協定について 新潟県社会福祉協議会地域福祉課 主任 清川 祐介 氏・意見交換 アドバイザー にいがた災害ボランティアネットワーク 理事長 李 仁鉄氏

(ウ). 災害ボランティアセンタースタッフ研修会の開催

開催日	参加者数	場 所	内 容
2月12日	45名	佐渡市畠野行政サービスセンター	オンラインによる講義 講義I 「令和6年能登半島地震における支援活動の実際」 講義II 「令和6年9月能登半島豪雨災害における支援活動の実際」 講師 にいがた災害ボランティアネットワーク 理事長 李 仁鉄 氏

(エ). 佐渡市総合防災訓練への参加

開催日	参加者数	場 所	内 容
11月17日	職員3名	市営相川駐車場周辺	災害ボランティアセンター展示体験コーナーの設置 ・災害ボランティアセンターの周知（情報掲示） ・災害ボランティアクイズの実施 ・ボランちやくん 頬抜きパネル設置

(オ). 佐渡青年会議所との災害時相互協力協定の更新・情報交換会

開催日	参加者数	場 所	内 容
12月24日	佐渡青年会議所 4名 佐渡市社会福祉協議会 6名	畠野行政サービスセンター	・災害時相互協力協定内容確認、更新について ・今年度の活動振り返りについて ・令和6年能登地震災害ボランティア活動について (報告) 佐渡青年会議所

(カ). 佐渡ライオンズクラブとの自然災害発生時における佐渡市災害ボランティアセンター支援に関する協定締結、更新・情報交換会

開催日	参加者数	場 所	内 容
4月3日	29名	八幡館	・自然災害発生時における佐渡市災害ボランティアセンター支援に関する協定締結式
3月5日	26名	八幡館	・自然災害発生時における協力協定内容確認、更新について ・今年度の振り返り ・協力、支援活動例について

(2) 暮らしやすい生活環境づくり

①暮らしやすい基盤整備の充実

ア. 地域福祉社会への活動支援

福祉会を支援することで見守り活動の推進や福祉活動の活発化を図った。

地区数	主な活動内容
19地区	見守り、施設ボランティア、地域版ごむしんネット、茶の間・サロン、配食、子どもの健全育成、雪かき、生活支援

イ. 車椅子貸与事業（会費事業 17,761 円）

病気やけが等により一時的に車椅子が必要な方を対象に貸与した。車椅子の寄贈により、増設、入替えを行った。

利用件数	保有台数
167件	33台

ウ. 歳末たすけあい事業の実施（共同募金配分金事業 3,924,358 円）

市民から寄せられた歳末たすけあい募金を財源に、歳末たすけあい弁当やしめ縄飾り・そばセットの配付等、安心して新たな年を迎えていただけるよう、各種サービスの提供を行った。民生委員児童委員や関係機関の協力を得て、対象者への周知等を行った。市内全小中学校の協力を得て、メッセージカードを作成いただき同梱した。

また、しめ縄飾りについては、佐渡文化財団、就労準備支援事業と連携を図り製作を行った。

利用世帯数	事業内容	対象者
2,595世帯	・歳末たすけあい弁当配付 ・しめ縄飾り、そばセット配付 ・お掃除サービス ・出張理容サービス	80歳以上一人暮らし高齢者、 80歳以上高齢者のみ世帯、 80歳以上高齢者と介助を要する同居親族のみ世帯、 療育手帳A,B所持者、 身体障害者手帳「上下肢不自由1級」所持者、 視覚障がい者1種(1~4級)所持者、 聴覚障がい者1種(2~3級)所持者、 精神障害者保健福祉手帳所持者、 介護度「4、5」の認定者

② 生活交通の確保と生活支援の充実

ア. 生活支援ボランティア派遣事業（ごむしんネット）の実施（補助事業・会費事業 986,895 円）

高齢者や障がい者等日常生活での心配ごとや困りごとに応じて生活支援ボランティアを派遣した。多様な要望に対応できるよう生活支援ボランティアの確保に努めた。また、居宅介護支援事業所等他機関との連携を図り、事業周知に努めた。

ごむしんネットとして依頼があり、マッチングを行ったが、地縁関係での助け合いでの実施となつたケースが8件あった。（実績に含まない。）

派遣回数	利用実人数	ボランティア数	主な内容
2,447回	114名	113名	ゴミ出し、買い物、話し相手、掃除、送り出し等

イ. 移送サービス事業の実施（会費事業 1,175,131 円）

公共交通機関を利用することが困難な高齢者等に対し、運転ボランティアの協力により福祉車両による病院への通院や福祉施設への入退所時の送迎等を行った。

実施回数	利用実人数	ボランティア (実人数)
155回	31名	31名

ウ. お買い物サロン

生協の協力を得て、宅配サービスをセットにしたサロンを開催し、注文書への記載のお手伝いを行った。実績は居場所づくり事業に計上。

エ. 佐渡市自動運転推進協議会への参加

生活交通の確保及び当会実施事業への活用を図るため、佐渡市自動運転推進協議会への参加、相川地区で行われた自動運転の自動運転実証調査への協力を行った。当会実施事業として介護予防教室等の送迎、配食サービスお弁当の配送等に自動運転車両を使用しての実証調査を行った。

また、地域の居場所づくり事業等を活用して、地域住民への説明会を開催し、利用促進に向けて働きかけを行った。

(3) 権利を守る環境づくり・成年後見制度の推進

①権利擁護の推進

ア. 日常生活自立支援事業の推進（新潟県社協受託事業 5,668,012 円）

判断能力の低下している高齢者・障がい者に対し、福祉サービス利用援助・日常金銭管理等を行った。

令和6年度は新規契約者の4名に対し、解約者は4名となった。解約の事由としては、施設入所や自立に至ったケースが挙げられる。

なお、相談件数の状況については、知的障がい者の相談が多く、実利用者数も知的障がい者が全体の半分以上となっている。

(ア). 新規契約者・解約者数

対象者 事 項	認知症高齢者等	知的障がい者等	精神障がい者等	生活保護（再掲）	合計
新規契約者数	2名	2名	0名	2名	4名
解約者数	1名	2名	1名	0名	4名

(イ). 実利用者数

対象者	認知症高齢者等	知的障がい者等	精神障がい者等	生活保護(再掲)	合計
実利用者数	6名	30名	11名	5名	47名

(ウ). 問い合わせ・相談件数

対象者 事 項	認知症 高齢者等	知的障がい者等	精神障がい者等	不明・その他 (分類困難)	合 計
問い合わせ件数	1件	2件	1件	4件	8件
初回相談件数	4件	4件	3件	0件	11件
相談援助件数	292件	1,261件	520件	15件	2,088件
合 計	297件	1,267件	524件	19件	2,107件

(エ). 生活支援員登録者数

登録者数 51名（内 実働者数 30名）

(オ). 生活支援員の研修会の開催

開催日	場 所	参加者数	内 容
8月21日	畠野行政サービスセンター	16名	新潟県社会福祉協議会主催令和6年度日常生活自立支援事業生活支援員研修II「スキルアップ編」（佐渡会場） ・講義と意見交換 1. 本人の意思を尊重する意思決定支援 ～対人援助の基本の理解と実践～ 2. 支援に役立つ傾聴のコツ～利用者との信頼関係を築くために～

② 成年後見制度の利用促進と支援体制の確保（受託事業 59,415,300 円）

ア. 成年後見制度等の普及啓発・相談対応

成年後見制度等の相談対応に関して、初回相談（新規）は半減した。法人後見支援状況について、法人後見受任件数は昨年から新規で 5 名受任しており、依然として成年後見制度へのニーズは高い。受任件数に比例して、法人後見支援に関する相談件数は増加している。

（ア）. 相談に関すること

事 項	対象者 認知症 高齢者等	知的 障がい者等	精神 障がい者等	その他	合 計
初回相談件数(新規)	0 件	1 件	1 件	9 件	11 件
相談援助件数(継続)	0 件	3 件	3 件	1 件	7 件
法人後見支援状況	2, 757 件	1, 864 件	3, 483 件	0 件	8, 104 件
合 計	2, 757 件	1, 868 件	3, 487 件	10 件	8, 122 件

（イ）. 連絡調整に関すること

事 項	件 数
成年後見制度に関する問合せ、普及啓発等	294 件
法人後見支援事業	59 件
運営委員会関係	120 件
ネットワークづくり	22 件
その他	64 件
合 計	559 件

（ウ）. 研修会等への職員派遣

職員の派遣を行い、成年後見制度の活用方法や後見人の役割等について、講義を行った。

開催回数	内 容
6 回	成年後見制度に関する講座等

（エ）. 成年後見セミナーの開催

成年後見制度の普及啓発を目的として、市民及び関係機関を対象に成年後見セミナーを開催した。成年後見制度の利用促進と地域共生社会の観点から、成年後見制度の活用について理解を促す機会として開催した。

開催日	場 所	参加者数	内 容
11月25日	あいぽーと佐渡	56名	第一部 基調講演 「成年後見制度の未来～地域における権利擁護支援を考える～」 講師 日本司法支援センター（法テラス）本部 常勤弁護士 水島俊彦 氏 第二部 パネルディスカッション 「佐渡における成年後見制度の現状と未来」 コーディネーター 日本司法支援センター（法テラス）本部 常勤弁護士 水島俊彦 氏 パネリスト 市民後見人 長谷川英夫 氏 パネリスト 佐渡市社会福祉協議会 福祉課 課長 須藤信宏

イ. 後見人等の受任

親族など、他に適切な後見人がいない方について、法人として後見人等を受任している。令和6年度は家庭裁判所からの依頼を受け後見人等の交代案件を含め5名を新規で受任した。また、被後見人等への支援のため、市民後見人養成講座修了生のうち2名が法人後見支援員として活動している。

(ア). 新規受任・終了件数

事項	対象者 認知症 高齢者等	知的 障がい者等	精神 障がい者等	合計	備考
新規受任件数	3件	0件	2件	5件	
受任終了件数	1件	0件	2件	3件	後見1件、保佐1件、 補助1件

(イ). 受任件数（年度末時点）

事項	対象者 認知症 高齢者等	知的 障がい者等	精神 障がい者等	合計	備考
後見	8件	6件	7件	21件	
保佐	5件	1件	4件	10件	
補助	0件	0件	0件	0件	
監督	0件	0件	0件	0件	
合計	13件	7件	11件	31件	在宅10件、 施設等21件

ウ. 社会福祉法人等による法人後見の推進

(ア). 法人後見支援事業の実施

成年後見制度における担い手のひとつである法人後見を推進するため、市内の社会福祉法人等を対象にセミナーを開催し、法人後見の理解促進を図った。

開催日	場所	参加者数	内 容
2月27日	畠野行政サービスセンター	7法人 9名	【講演】 「佐渡市内における後見制度の利用状況および法人後見の必要性」 講師：新潟家庭裁判所佐渡支部 裁判所書記官 皆川貴夫 氏 「法人後見立ち上げの意義」 講師：社会福祉法人上越福祉会 法人本部 副参事 細谷雄一 氏 質疑・応答・情報交換

エ. 市民後見人の養成・活動支援

後見人の担い手不足の問題に対応するため、平成25年度から市民後見人養成講座を開催しており、令和6年度市民後見人養成講座には11名の申込みがあり、講座修了生は10名であった。行政・専門職等と連携して市民後見人の活動支援と受任体制づくりに努めた。

佐渡市市民後見人名簿登録者111名（累計）の内、これまでに75名（累計）が家庭裁判所からの審判（単独受任）を受け、活動している。

(ア). 市民後見人の受任状況等

	佐渡市市民後見人 名簿登録者数	新規受任件数	受任終了件数	活動中の 市民後見人數
令和6年度	10名	10件	6件	
累計	111名	75件	33件	42名

(イ). 市民後見人活動支援

市民後見人が安心して活動できるよう、センターとの相談体制の確保及び弁護士、司法書士等と連携して活動支援に努めた。市民後見人が活動する中で、疑問に思うことや不安を感じることについて、支援を行ったことで、随時相談件数が増加した。

また、市民後見人の活動事例紹介や後見業務上、必要となる内容を中心にフォローアップ研修を開催し、後見活動における知識の修得及び活動内容の向上を図った。

a. 随時相談

内 訳	件 数
・市民後見人相談件数	3, 281件
・市民後見人養成講座に関する相談・問合せ・連絡調整	
・市民後見人フォローアップ研修会に関する相談・問合せ・連絡調整	
・専門職相談会に関する相談・問合せ・連絡調整	
・市民後見人受任に関する相談・問合せ・連絡調整	

b. 弁護士・司法書士等による専門職相談会

開催日 (全6回)	件 数
5月15日、9月12日、9月26日、10月10日、12月24日、 2月26日	8件

c. フォローアップ研修

開催回数	場 所	参加者数
4回	畠野農村環境改善センター	141名

(ウ). 市民後見人養成講座の開催

開催日 (基礎講座・実務講座全10日間及び面談等)		参加者数
基礎講座 (5日間)	8月8日、8月22日、9月5日、9月19日、10月3日	11名
実務選考面談	10月15日 (個別面談)	11名
実務講座 (5日間)	11月7日、11月21日、12月5日、12月19日、1月16日	10名
実地研修・事務研修	1月9日	10名
実地研修・訪問研修	1月7日、1月8日、1月10日、1月14日、1月15日	10名
最終選考面談	1月22日 (グループワーク及び個別面談)	10名

(エ). 市民後見人等の受任調整

開催回数	受任調整件数	リレ一件数
5回	13件	2件

才. 権利擁護のネットワークづくり

成年後見制度の普及啓発・法人後見の推進及び市民後見人が安心して活動できる体制について、行政や地域包括支援センター等との関係機関連絡会議を開催した。

開催日（全10回）	内 容
5月15日、6月19日、8月21日、 9月18日、10月23日、11月24日、 12月18日、1月15日、2月19日、 3月19日	・成年後見制度申立てに伴う地域包括支援センターとの連携方法について ・成年後見申立てに関する情報共有 ・受任調整会議について意見交換 ・申立てに関する意見交換

カ. 成年後見センター運営委員会の開催

専門職や関係機関等により9名で構成された運営委員会を設置して、センターの運営や法人後見に係る審議、ケースへの助言などを行った。また、市民後見人活動支援等についても協議した。

開催回数	場 所	出席者
6回	畠野行政サービスセンター	39名

4. 介護サービス事業の経営強化と発展

32ページ以降参照

5. 福祉センター等の有効活用

(1) 福祉センター等の経営

① 福祉センター

福祉事業を総合的に行う拠点とし、福祉活動の高揚を図ることを目的に新型コロナウイルス感染症対策を図りながら運営を行った。

また、経年劣化等により修繕が必要となっているが、大規模修繕は行わず、必要最低限の修繕とし、用途変更や一部機能の廃止の検討を行った。

なお、小木福祉保健センターつくしについては、小木診療所への貸与により利用者はいない。

施設名	6年度利用者数	5年度利用者数	備 考
両津福祉センターしゃくなげ	6, 319名	6, 054名	
福祉センターあいかわ	847名	718名	
赤泊福祉保健センターやすらぎ	1, 152名	1, 323名	

② 老人福祉センター

新型コロナウイルス感染症対策をとりながら運営を行った。

真野地域センターが移転した8月以降は介護予防教室のみの利用となり、冬期の悪天候の影響も相まって利用者数は減少した。

施設名	6年度利用者数	5年度利用者数	備 考
真野老人福祉センター寿楽荘	237名	470名	

③ 屋内ゲートボール場すばーく両津

高齢者等の健康と生きがい・仲間づくりを目的に運営を行った。

施設名	6年度利用者数	利用回数	5年度利用者数	利用回数	備 考
屋内ゲートボール場すばーく両津	1, 977名	235回	2, 029名	227回	

(2) 高齢者住宅の経営

令和6年4月時点で4名の方が入居（単身部屋2部屋、夫婦部屋1部屋）されていたが、順次退居され、令和6年9月をもって全員退居となった。

施設名	実利用者数	備 考
畠野高齢者住宅やわらぎの里	4名	令和6年9月9日に入居者0名となった。

6. 法人運営機能の充実・強化

(1) 理事会の開催

開催日		出席 役員	場 所	承認議案数
月	日			
1	6月6日	12名	畠野行政サービスセンター	7件
2	9月20日	14名	畠野行政サービスセンター	8件
3	3月6日	13名	畠野行政サービスセンター	23件

(2) 評議員会の開催

開催日		出席 評議員	場 所	承認議案数
月	日			
1	6月24日	14名	畠野行政サービスセンター	2件
2	10月10日	16名	畠野行政サービスセンター	2件
3	3月21日	16名	畠野行政サービスセンター	4件

(3) 監事会の開催

開催日		出席 監事	場 所	決 議 事 項
月	日			
1	5月14日 5月16日	2名	畠野行政サービスセンター	令和5年度事業報告 令和5年度計算関係書類及び財産目録
2	12月16日 12月18日	2名	畠野行政サービスセンター、佐渡市社会福祉協議会各事業所	「両津デイサービスセンターしゃくなげ」の運営状況等について

(4) 委員会の開催

法人経営の安定、地域福祉事業の推進及び介護サービスの経営等を検討することを目的として、各委員会を開催し意見をいただいた。

開催日		出席 委員	場 所	委員会
月	日			
1	2月14日	6名	畠野行政サービスセンター	地域福祉委員会
2	2月14日	5名	畠野行政サービスセンター	法人運営委員会
3	2月14日	6名	畠野行政サービスセンター	介護サービス委員会

(5) 経営会議

開催回数	場 所
14回	畠野行政サービスセンター

(6) 役員研修の実施

開催日		出席 役員	場 所	内 容
	月 日			
1	10月30日	11名	山形県飯豊町社会福祉協議会	・令和6年度の地域福祉事業における重点取組について ・介護保険事業における経営改善の方策について

(7) 会員組織拡充の推進

① 一般会員・賛助会員の状況

佐渡市社会福祉協議会は地域の皆様のご理解とご賛同を得ながら各種事業に取り組んでいる。加入促進には、ご支援をいただきながら努めてきたが、前年度に比べ一般会員で392世帯の減少、賛助会員で4名の増加となった。

一般会員数	賛助会員数
13, 465世帯	457名

(8) 福祉情報の提供

① 佐渡市社協だよりの発行（隔月）

地域の方々が佐渡市社会福祉協議会を身近に感じ、地域福祉事業や生活支援事業に関心をもってくださるよう、誰にでも読みやすく分かりやすい記事づくりを心がけて発行した。

社協だより 第182号～第187号（奇数月発行）

② ホームページの活用

幅広い世代の方々や市外にお住まいの方々にも情報を届けられるよう、ホームページを活用して、事業の紹介や各種講座等の開催案内、共同募金に関する情報などを発信した。

(9) 苦情解決への適切な対応

四半期ごとに苦情内容を第三者委員に報告し、情報共有を行うとともにに対応について助言を求め、サービスの向上に繋げた。

① 第三者委員会の開催

開催日	会 場
8月21日	畠野行政サービスセンター

② 苦情の件数等

分類	件数	内 容	対 応
処遇の内容	4 件	デイサービスの利用日なのに迎えが来ない、ヘルパーが時間どおりに来ない等	業務手順の確認・見直し等
職員の言動	7 件	職員の言葉使いが悪い、職員の態度が悪い等	ミーティングでの指導、研修の実施等
制度に係る意見要望	1 件	事業対象者の調査が足りない	把握しきれない部分について丁寧に説明する
その他	17 件	公用車の運転マナーが悪い、料金変更の通知が遅い、会費について、介護技術について等	職員への周知徹底、業務手順の確認・見直し、依頼・周知方法の見直し・工夫等
合 計	29 件		

(10) 人材育成の推進

① 職員研修の実施

研修計画に基づき、全体・部会単位・所属単位・事業所単位等で研修を行った。また、新潟県社協など外部団体が主催する研修にも参加し、人材育成とスキルアップに努めた。

(11) 人事評価制度の取り組み

主任以上の職員に対して人事評価を実施した。係長以上は上期と下期の年2回、主任には年1回の評価対象期間を設け、目標管理評価に係る面談を実施し、業務目標の共有、課題の把握に努めた。

(12) 第3次社協発展・強化計画の評価

組織体制の整備と強化、財政基盤の充実を図り、必要となる地域福祉事業や介護サービス事業を検討して進むべき方向を定めるために策定した第3次社協発展・強化計画の評価を行った。

① 経営会議での中間評価

開催日	会場
11月26日	畠野行政サービスセンター

② 各委員会での期末評価

開催日	委員会名	会場
2月14日	地域福祉委員会	畠野行政サービスセンター
2月14日	法人運営委員会	畠野行政サービスセンター
2月14日	介護サービス委員会	畠野行政サービスセンター

(13) 事業継続計画（B C P）の検証

災害等で被害を受けても重要な福祉サービス等の提供をなるべく中断しない、または中断しても可能な限り早急に再開できるように策定した事業継続計画（B C P）の点検・見直しを行った。

また、10月29日及び3月21日に緊急連絡網等を活用した安否確認訓練を実施し、災害時の安否確認方法の手順を確認した。

7. その他の取り組み

(1) 相談援助実習生の受け入れ

社会福祉士養成機関から相談援助実習生を受け入れ、実習プログラムを作成し、指導を行った。

養成機関	期 間	受け入れ人数
日本こども福祉専門学校	12月9日～1月24日	1名

(2) 介護保険外訪問介護事業の実施

訪問介護事業の利用者の急を要する受診の介助及び歳末たすけあい事業として訪問介護員の技術を生かし、掃除等の援助を提供した。

事業所	実施回数	実利用者数	備 考
社協ヘルパーステーションまごころ	53回	25名	内歳末たすけあい事業 16回

(3) 介護保険外通所介護事業の実施

利用者のニーズに対応し、通所介護サービスの利用中に理容業者による理容サービスを提供した。

事業所数	実施回数	延べ利用者数
8施設	273回	441名

II 介護保険事業、障がい福祉サービス事業報告

(1) 訪問介護事業所の経営

① 運営の概況

利用者ニーズはあるものの、ヘルパー数減によりサービス提供時間・回数が減少した。

② 運営状況

ア. 社協ヘルパーステーションまごころ ※ () 内は前年数値／前年比 以下同様

・実利用者数	561 名	(652 名	/	△14.0 %)
[内介護分]	350 名	(426 名	/	△17.8 %)
[内総合事業分]	113 名	(131 名	/	△13.7 %)
[内障がい分]	97 名	(95 名	/	2.1 %)
・年間延サービス提供時間／回数					
	52,383 時間	(56,286 時間	/	△6.9 %)
	80,688 回	(85,953 回	/	△6.1 %)
[内介護分]	36,924 時間	(40,054 時間	/	△7.8 %)
	61,611 回	(65,944 回	/	△6.6 %)
[内総合事業分]	5,787 時間	(6,731 時間	/	△14.0 %)
	5,817 回	(6,769 回	/	△14.1 %)
[内障がい分]	9,673 時間	(9,501 時間	/	1.8 %)
	13,259 回	(13,240 回	/	0.1 %)
・実ヘルパー数	84 名	(93 名	/	△9.7 %)
・常勤換算ヘルパー数	57.7 名	(64.5 名	/	△10.5 %)

(2) 訪問入浴介護事業所の経営

① 運営の概況

在宅で終末期を迎える方などの需要が高く、サービス提供者数が増加した。

② 運営状況

ア. 社協訪問入浴介護事業所

・営業日数	365 日	(366 日)
・実利用者数	55 名	(51 名 / 7.8 %)
・年間延サービス提供者数	1,490 名	(1,373 名 / 8.5 %)

(3) 通所介護事業所の経営

① 運営の概況

令和6年4月に松ヶ崎デイサービスセンターまつさきを休止し、赤泊デイサービスセンターやすらぎを中心に利用者の受入れを行うため、定員と営業日の見直しを行った。
高齢者人口の減少に伴い認定者数も減少したことから、実利用者数が減少した。

② 運営状況(定員229名 (令和7年3月31日現在))

・延営業日数	2,629 日	(2,786 日)	
・実利用者数	893 名	(986 名 /	△9.4 %)
・年間延サービス提供者数	56,111 名	(56,558 名 /	△0.8 %)
[内介護分]	43,610 名	(43,871 名 /	△0.6 %)
[内予防・総合事業分]	7,680 名	(8,084 名 /	△5.0 %)
[内障がい分]	1,614 名	(1,401 名 /	15.2 %)
[内待鶴荘分]	3,207 名	(3,192 名 /	0.5 %)
・個別機能訓練加算 年間件数	456 件	(165 件 /	176.4 %)
実人数	62 名	(27 名 /	129.6 %)
・口腔機能向上加算 年間件数	0 件	(63 件 /	△100.0 %)
実人数	0 名	(32 名 /	△100.0 %)
・年間平均稼働率	75.4 %	(69.0 % /	6.4 ポイント)
・一日平均利用者数	165.6 名	(175.1 名 /	△5.4 %)
[内介護分]	129.5 名	(136.6 名 /	△5.2 %)
[内予防・総合事業分]	22.8 名	(25.3 名 /	△9.9 %)
[内障がい分]	4.6 名	(4.3 名 /	7.0 %)
[内待鶴荘分]	8.9 名	(8.8 名 /	1.1 %)

ア. 両津デイサービスセンターしゃくなげ (定員35名)

・営業日数	361 日	(362 日)	
・実利用者数	161 名	(196 名 /	△17.9 %)
・年間延サービス提供者数	10,332 名	(9,678 名 /	6.8 %)
[内介護分]	8,542 名	(8,050 名 /	6.1 %)
[内総合事業分]	1,590 名	(1,551 名 /	2.5 %)
[内障がい分]	200 名	(78 名 /	156.4 %)
・個別機能訓練加算 年間件数	0 件	(0 件 /	—)
実人数	0 名	(0 名 /	—)
・口腔機能向上加算 年間件数	0 件	(0 件 /	—)
実人数	0 名	(0 名 /	—)
・年間平均稼働率	81.8 %	(76.4 % /	5.4 ポイント)
・一日平均利用者数	28.6 名	(26.7 名 /	7.1 %)
[内介護分]	23.7 名	(22.2 名 /	6.8 %)
[内総合事業分]	4.4 名	(4.3 名 /	2.3 %)
[内障がい分]	0.6 名	(0.2 名 /	200.0 %)

イ. 両津デイサービスセンターいわゆり (定員18名)

・営業日数	257 日	(257 日)	
・実利用者数	56 名	(55 名 / 1.8 %)	
・年間延サービス提供者数	3,911 名	(3,437 名 / 13.8 %)	
[内介護分]	3,322 名	(2,756 名 / 20.5 %)	
[内総合事業分]	589 名	(681 名 / △13.5 %)	
・個別機能訓練加算	年間件数	0 件 (0 件 / —)	
	実人数	0 名 (0 名 / —)	
・口腔機能向上加算	年間件数	0 件 (0 件 / —)	
	実人数	0 名 (0 名 / —)	
・年間平均稼働率		84.5 % (74.3 % / 10.2 ポイント)	
・一日平均利用者数		15.2 名 (13.4 名 / 13.4 %)	
	[内介護分]	12.9 名 (10.7 名 / 20.6 %)	
	[内総合事業分]	2.3 名 (2.6 名 / △11.5 %)	

ウ. 両津デイサービスセンターかんぞう (定員18名)

・営業日数	206 日	(205 日)	
・実利用者数	31 名	(40 名 / △22.5 %)	
・年間延サービス提供者数	2,762 名	(2,445 名 / 13.0 %)	
[内介護分]	2,341 名	(2,140 名 / 9.4 %)	
[内総合事業分]	368 名	(248 名 / 48.4 %)	
[内障がい分]	53 名	(57 名 / △7.0 %)	
・個別機能訓練加算	年間件数	0 件 (0 件 / —)	
	実人数	0 名 (0 名 / —)	
・口腔機能向上加算	年間件数	0 件 (0 件 / —)	
	実人数	0 名 (0 名 / —)	
・年間平均稼働率		74.5 % (66.3 % / 8.2 ポイント)	
・一日平均利用者数		13.4 名 (11.9 名 / 12.6 %)	
	[内介護分]	11.4 名 (10.4 名 / 9.6 %)	
	[内総合事業分]	1.8 名 (1.2 名 / 50.0 %)	
	[内障がい分]	0.3 名 (0.3 名 / 0.0 %)	

エ. 金井デイサービスセンターしゃくなげの里 (定員51名)

・ 営業日数	361 日	(362 日)	
・ 実利用者数	161 名	(147 名 /	9.5 %)
・ 年間延サービス提供者数	9,771 名	(9,978 名 /	△2.1 %)
[内介護分]	8,112 名	(8,179 名 /	△0.8 %)
[内総合事業分]	1,357 名	(1,560 名 /	△13.0 %)
[内障がい分]	302 名	(239 名 /	26.4 %)
[内待鶴荘分]	0 名	(0 名 /	0.0 %)
・ 個別機能訓練加算	年間件数	456 件	(165 件 / 176.4 %)
	実人数	62 名	(27 名 / 129.6 %)
・ 口腔機能向上加算	年間件数	0 件	(63 件 / △100.0 %)
	実人数	0 名	(32 名 / △100.0 %)
・ 年間平均稼働率		53.1 %	(54.0 % / △0.9 ポイント)
・ 一日平均利用者数		27.1 名	(27.6 名 / △1.8 %)
[内介護分]	22.5 名	(22.6 名 / △0.4 %)	
[内総合事業分]	3.8 名	(4.3 名 / △11.6 %)	
[内障がい分]	0.8 名	(0.7 名 / 14.3 %)	
[内待鶴荘分]	0.0 名	(0.0 名 / 0.0 %)	

オ. 新穂デイサービスセンター (定員36名)

・ 営業日数	361 日	(362 日)	
・ 実利用者数	136 名	(124 名 /	9.7 %)
・ 年間延サービス提供者数	9,117 名	(7,862 名 /	16.0 %)
[内介護分]	5,609 名	(5,068 名 /	10.7 %)
[内総合事業分]	640 名	(668 名 /	△4.2 %)
[内障がい分]	185 名	(227 名 /	△18.5 %)
[内待鶴荘分]	2,683 名	(1,888 名 /	42.1 %)
・ 個別機能訓練加算	年間件数	0 件	(0 件 / 0.0 %)
	実人数	0 名	(0 名 / 0.0 %)
・ 口腔機能向上加算	年間件数	0 件	(0 件 / 0.0 %)
	実人数	0 名	(0 名 / 0.0 %)
・ 年間平均稼働率		70.2 %	(60.3 % / 9.9 ポイント)
・ 一日平均利用者数		25.3 名	(21.7 名 / 16.6 %)
[内介護分]	15.5 名	(14.0 名 /	10.7 %)
[内総合事業分]	1.8 名	(1.8 名 /	0.0 %)
[内障がい分]	0.5 名	(0.6 名 /	△16.7 %)
[内待鶴荘分]	7.4 名	(5.2 名 /	42.3 %)

カ. 畑野デイサービスセンターやわらぎの里 (定員18名)

・営業日数	361 日	(362 日)	
・実利用者数	79 名	(124 名 /	△36.3 %)
・年間延サービス提供者数	4,239 名	(6,561 名 /	△15.9 %)
[内介護分]	2,947 名	(4,143 名 /	△17.8 %)
[内総合事業分]	519 名	(916 名 /	△43.3 %)
[内障がい分]	249 名	(198 名 /	25.8 %)
[内待鶴荘分]	524 名	(1,304 名 /	△59.8 %)
・個別機能訓練加算	年間件数	0 件	(0 件 /	—)
	実人数	0 名	(0 名 /	—)
・口腔機能向上加算	年間件数	0 件	(0 件 /	—)
	実人数	0 名	(0 名 /	—)
・年間平均稼働率		65.2 %	(75.3 % /	△10.1 ポイント)
・一日平均利用者数		11.7 名	(18.1 名 /	△35.4 %)
	[内介護分]	8.2 名	(11.4 名 /	△28.1 %)
	[内総合事業分]	1.4 名	(2.5 名 /	△44.0 %)
	[内障がい分]	0.7 名	(0.5 名 /	40.0 %)
	[内待鶴荘分]	1.5 名	(3.6 名 /	△58.3 %)

キ. 松ヶ崎デイサービスセンターまつさきの里 (定員18名・令和6年4月から休止)

・営業日数	一日	(257 日)	
・実利用者数	一名	(51 名 /	— %)
・年間延サービス提供者数	一名	(3,080 名 /	— %)
[内介護分]	一名	(2,178 名 /	— %)
[内総合事業分]	一名	(800 名 /	— %)
[内障がい分]	一名	(102 名 /	— %)
・運動機能向上加算	年間件数	一件	(0 件 /	— %)
	実人数	一名	(0 名 /	— %)
・口腔機能向上加算	年間件数	一件	(0 件 /	— %)
	実人数	一名	(0 名 /	— %)
・年間平均稼働率		— %	(66.6 % /	— ポイント)
・一日平均利用者数		一名	(12.0 名 /	— %)
	[内介護分]	一名	(8.5 名 /	— %)
	[内総合事業分]	一名	(3.1 名 /	— %)
	[内障がい分]	一名	(0.4 名 /	— %)

ク. 小木デイサービスセンターつくし (令和6年4月から定員18名)

・営業日数	361 日	(310 日)	
・実利用者数	109 名	(124 名 /	△12.1 %)
・年間延サービス提供者数	6,322 名	(6,126 名 /	3.2 %)
[内介護分]	5,313 名	(5,179 名 /	2.6 %)
[内総合事業分]	824 名	(741 名 /	11.2 %)
[内障がい分]	185 名	(206 名 /	△10.2 %)
・個別機能訓練加算	年間件数	0 件	(0 件 / —)
	実人数	0 名	(0 名 / —)
・口腔機能向上加算	年間件数	0 件	(0 件 / —)
	実人数	0 名	(0 名 / —)
・年間平均稼働率		97.3 %	(68.1 % / 29.2 ポイント)
・一日平均利用者数		17.5 名	(19.8 名 / △11.6 %)
	[内介護分]	14.7 名	(16.7 名 / △12.0 %)
	[内総合事業分]	2.3 名	(2.4 名 / △4.2 %)
	[内障がい分]	0.5 名	(0.7 名 / △28.6 %)

ケ. 赤泊デイサービスセンターやすらぎ (定員30名・週6日営業→令和6年4月から定員35名・週7日営業)

・営業日数	361 日	(309 日)	
・実利用者数	160 名	(125 名 /	28.0 %)
・年間延サービス提供者数	9,657 名	(7,391 名 /	30.7 %)
[内介護分]	7,424 名	(6,178 名 /	20.2 %)
[内総合事業分]	1,793 名	(919 名 /	95.1 %)
[内障がい分]	440 名	(294 名 /	49.7 %)
・個別機能訓練加算	年間件数	0 件	(0 件 / —)
	実人数	0 名	(0 名 / —)
・口腔機能向上加算	年間件数	0 件	(0 件 / —)
	実人数	0 名	(0 名 / —)
・年間平均稼働率		76.4 %	(79.7 % / △3.3 ポイント)
・一日平均利用者数		26.8 名	(23.9 名 / 12.0 %)
	[内介護分]	20.6 名	(20.0 名 / 3.0 %)
	[内総合事業分]	5.0 名	(3.0 名 / 66.7 %)
	[内障がい分]	1.2 名	(1.0 名 / 20.0 %)

(4) 居宅介護支援事業所の経営

① 運営の概況

介護支援専門員数の減少により、請求件数が減少した。また、介護認定の軽度化が進んでいることから、介護予防支援事業所申請を行い令和6年1月よりサービス提供を開始した。

② 運営状況

・ケアマネ人数（常勤換算）	19.9名	(21.6名 / △7.9 %)
・介護プラン請求件数	8,392件	(8,679件 / △3.3 %)
・予防プラン請求件数	12件	(0件 / — %)
・プラン請求件数（月一人当たり）	35.1件	(33.5件 / 5.0 %)
・訪問調査件数	90件	(120件 / △25.0 %)
・介護予防プラン受託件数	412件	(277件 / 48.7 %)

ア. 社協ケアプランセンターしやくなげ（両津）

・ケアマネ人数（常勤換算）	4.0名	(5.3名 / △24.5 %)
・介護プラン請求件数	1,912件	(2,075件 / △7.9 %)
・予防プラン請求件数	0件	(0件 / — %)
・プラン請求件数（月一人当たり）	39.8件	(32.6件 / 22.1 %)
・訪問調査件数	14件	(5件 / 180.0 %)
・介護予防プラン受託件数	30件	(7件 / 328.6 %)

イ. 社協ケアプランセンタ一天領（相川）

・ケアマネ人数（常勤換算）	3.8名	(4.0名 / △5.0 %)
・介護プラン請求件数	1,555件	(1,762件 / △11.7 %)
・予防プラン請求件数	2件	(0件 / — %)
・プラン請求件数（月一人当たり）	35.7件	(37.2件 / △4.0 %)
・訪問調査件数	30件	(43件 / △30.2 %)
・介護予防プラン受託件数	66件	(78件 / △15.4 %)

ウ. 社協ケアプランセンターなごみ（佐和田）

・ケアマネ人数（常勤換算）	4.2名	(3.8名／	10.5%
・介護プラン請求件数	1,726件	(1,640件／	5.2%
・予防プラン請求件数	8件	(0件／	—%
・プラン請求件数（月一人当たり）	34.0件	(36.0件／	△5.6%
・訪問調査件数	13件	(17件／	△23.5%
・介護予防プラン受託件数	23件	(1件／	2,200.0%

エ. 社協ケアプランセンターきずな（真野）

・ケアマネ人数（常勤換算）	3.9名	(4.5名／	△13.3%
・介護プラン請求件数	1,499件	(1,495件／	0.3%
・予防プラン請求件数	0件	(0件／	—%
・プラン請求件数（月一人当たり）	32.0件	(27.7件／	15.5%
・訪問調査件数	12件	(17件／	△29.4%
・介護予防プラン受託件数	176件	(112件／	57.1%

オ. 社協ケアプランセンターおもと（羽茂）

・ケアマネ人数（常勤換算）	4.0名	(4.0名／	0.0%
・介護プラン請求件数	1,700件	(1,707件／	△0.4%
・予防プラン請求件数	2件	(0件／	—%
・プラン請求件数（月一人当たり）	35.4件	(35.6件／	△0.6%
・訪問調査件数	21件	(38件／	△44.7%
・介護予防プラン受託件数	117件	(79件／	48.1%

（5）認知症対応型共同生活介護施設の経営

① 運営の概況

入院入所が多く、短期利用認知症対応型共同生活介護の申請と待機者の実態調査・入退居判定会議を開催し空室縮小に取り組んできたが、稼働率と1日平均利用者数が減少した。

② 運営状況

ア. グループホームまでの（定員18名）[2ユニット]

・定員（2ユニット合計）	18名	(18名／	0.0%
・実利用者数	28名	(19名／	47.4%
・年間平均稼働率	95.0%	(99.5%／	△4.5ポイント)
・1日平均利用者数	17.2名	(17.9名／	△3.9%

事業報告の附属明細書

令和 6 年度事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、事業報告の附属明細書は作成していない。

社会福祉法人佐渡市社会福祉協議会